向田会計/YMS情報局

群馬県桐生市末広町6-10 MSt ル2F Tel 0277(45)2160 Fax 0277(45)2161 https://www.mukaida-kaikei.co.jp



相続税の無料

/ミュレーション実施中!

月次決算はなぜ必要か

かつてのような右肩上がりの成長が見込めないなか、利益を着実に得るには数字に対する"感度"を高める必要があります。月次決算体制を構築し、変動損益決算書を使いこなすことが、成長する会社をつくる第一歩となります。

月次決算は 何のために行う? 年に一回、税務署に決算報告書を提出する年次決算。 それに対して月次決算とは、<u>自社の業績を把握するため</u> に、1ヶ月ごとに決算数値を確定させること。

月次決算は法律で義務化されているわけではなく、あく まで企業が自らのために行うものです。

大半の経営者は一ヶ月間の経営成績をしりたがっています。ただ、資金繰りや人材確保など様々な課題を抱えており、業績が悪化すると悩みが無限に増幅します。こうした事態を防ぐには、自社の置かれている状況をできるだけ具体的に知ることが肝要です。

月次決算がいま 求められている理由

月次決算を行うと、取りも直さず現実に向き合うことになるので、業績降下時にはどの程度悪化しているのか、客観的な数字として把握できます。

業績が順調な時には、経営者自身や社員のがんばりが反映された結果として手 ごたえを得ることができます。

月次決算を通して現実を知ることは、業績のいかんにかかわらず**経営者にとって 有益であり、企業を永続させる**ための取り組みと言えます。

その他 メリットは? 経営者は、おおまかな業績を頭の中でイメージしていますが 月次決算で正確な数字を知ることで、わずかな変化に気づけ るようになります。例えば、例年と比較して増加している経費 がある場合や、売上が増えているのに利益が減少していると いったケースです。前月あるいは前年同月とつぶさに比べれ

ば、その原因を追究して改善策を早期に施せるようになります。

月次決算のメリットに関連して、興味深いデータがあります。

国税庁統計によると、令和6年6月30日期における申告法人の<u>**黒字割合は36.0%</u>**でした。これが、TKC自計化システム利用企業で**54.1%**、<365日変動損益計算書>利用企業では**60.9%**、同機能に加えて<得意先順位月報>も利用している企業では**62.8%**まで上昇することがわかりました。</u>

業績を定期的に細かく確認していればいるほど、企業は<u>黒字割合が上昇する</u>ということが如実に表れた結果となりました。

経理担当者は、正確な経理処理を念頭に置いているため、月次決算が遅れてしまいがちです。月次決算は制度と鮮度(スピード)を両立させることが大事です。

業績への影響が軽微なら概算額を計上し、後日、確定額に振替るのも一つの手で

す。 また、経理担当者は締め日業務を抱えており、経理 処理が後回しになりがちです。

大切なのは、経理任せに せず、全員で月次業績を早く 出す方法や手順を考え協力 することです。



桐生相続相談室

9/13(土)・20(土)・28(日)

9時~18時の間で60分

無用料用談員会

相続について、お気軽にご相談ください。

30277-45-2160

※事業承継・M&A等に関しても、随時ご相談承っております

適時かつ正確な業績管理を 習慣化し資金繰りを改善



"石の上に立つ木と土の家"伝統的な日本の家づくりを手がける『木ごころ 工房』(静岡県周智郡)。地元の木材や土、石といった自然の素材を使った家は、主に健康志向の高い子育て世代からの需要があり、経営は安定していましたが・・・資金繰りの問題に頭を悩ませていました。



「仕事はあるものの、お金が足りないという状態が長く続いて。材料費、労務費、外注費などを支払ったあとは、会社の現預金はいつもギリギリの状態でした。また、納税額も決算後に判明していたので納税資金を確保するのにも苦労しました。」と経理担当の松村さん。

住宅業界では、請負代金は着工時、上棟時、竣工時など複数回に分けて入金されるのが一般的です。このように、キャッシュインのタイミングに間隔が生じることから、資金繰りを安定させるためには、工事原価を適時かつ正確に管理することが求められますが、当時は多忙ゆえに工事台帳をつける時間がなく、現場別の支出を細かく管理できていなかったといいます。

こうした課題を克服するべく、業績をもとに経営改善をすすめるための仕組みづくりのため税理士を変更。 現在の税理士のもとで適時かつ現場別の正確な記帳と、業績をタイムリーに把握するための体制づくりに着手しました。



工事台帳の記帳で、固定費の発生額や工事現場別の工事原価が可視化され 資金の動きが手に取るように把握できるようになりました。これにより、目標工事 利益(率)の設定精度が向上し、適切な請負金額を算出できるようになりました。

月次決算の仕組みを確立したことで、自社の経営状況を適時・正確に判断し資金繰りも安定、今では支払いの心配をすることもないそうです。

~戦略経営者2025年8月号~

~顧問先のご紹介~

ヤオクニ(株) 様

~ 新鮮野菜にお惣菜、お肉も果物もお手頃価格で揃います ~





群馬県桐生市錦町二丁目8十19

20277-44-8786

